プログラム

戸部 豊

トランペット：戸部　豊　　ピアノ：戸部　生恵

1. トランペット吹きの子守歌 …… 作曲：ルロイ・アンダーソン

アメリカ軽音楽の巨匠とされるアンダーソン氏の作品の多くはアーサー・フィドラー指揮ボストン・ポップス・オーケストラによって紹介された。初演は 1950 年でボストン交響楽団首席ロジャー・ヴォワザン氏のソロによる。

2. トランペット協奏曲　変ホ長調　第 1 楽章 …… 作曲：ヨーゼフ・ハイドン

1796 年作曲の晩年の作品で、1800 年に初演された。その後 1899 年にウィーンのトランペッター、P. ハントケ氏が自筆原稿を発見して知られるようになったトランペットの名曲。3 楽章から成り、とりわけ第 1 楽章は名高い

3. フォスター　メドレー …… 作曲：スティーブン・フォスター / 編曲：元井　勤

黒人奴隷の苦しみに共感を示し、黒人の日常を取り上げた作曲家。幼少期から音楽的才能をみせ、20 歳までに歌曲を出版し「アメリカ音楽の父」と称される。元戸部門下生の元井勤氏によって 5 曲をメドレーにアレンジ。

4. ロマンツァ …… 作曲：ラファエル・メンデス

超絶技巧で輝かしい音色を響かせる、メキシコ生まれのトランペットの名手メンデス氏は、2 人の息子とのトリオ曲など自身が作曲した作品を多く残した。ロマンツァは哀調を帯びたメキシコ調の歌心豊かな名曲。

森谷 真理

ソプラノ：森谷　真理　　ピアノ：山田　武彦

解説：河野 典子

1. 夜 …… 作曲：R. シュトラウス

「夜がすべての光を消し去る、すべての色を … そして私は恐れる、夜が君のことも盗んでいくのではないかと」と歌う。

2. セレナーデ …… 作曲：R. シュトラウス

そよ吹く夜風か小川のせせらぎを思わせる美しい前奏で始まる〈セレナーデ〉は、青年が恋人に「月の輝く夜の中、誰も起こさず、妖精のように軽やかに僕のところにおいで」と語りかける。

3. 万霊節 …… 作曲：R. シュトラウス

愛する人の墓前で、その人と過ごした幸せだった日々を懐かしく思い出す。

4. 献呈 …… 作曲：R. シュトラウス

敬愛する恋人に愛することを教えてくれたことを感謝する。

5. 歌劇『ファウスト』より　宝石の歌 …… 作曲：グノー

ゲーテ原作の『ファウスト』は、何人もの作曲家が手がけているが、その中で最も有名なのが、このフランスの作曲家グノーの同名のオペラ。第 3 幕で悪魔メフィストフェレスの策略により彼女の家の前に置かれた宝石箱を見つけたマルグリートが、キラキラと輝く高価なアクセサリーを手にしてその美しさに魅了されて歌うのがこの〈宝石の歌〉。

6. 歌劇『ラ・ボエーム』より　ムゼッタのワルツ「私が街を歩けば」 …… 作曲：プッチーニ

イタリアの作曲家プッチーニのオペラ『ラ・ボエーム』第 2 幕はクリスマス・イヴのパリ。金持ちのパトロン、アルチンドロをまるで召使いのように従えた美しい娘ムゼッタが現れる。カフェ・モミュスのテラス席に、昔の恋人で売れない画家のマルチェッロの姿を認めた彼女は「私が街を歩くとみんなが振り向くわ。そして私のことを頭の先から足の先まで舐め回すような目で見るの」と、この〈ムゼッタのワルツ〉をわざと艶やかに歌い、彼の嫉妬心に火を付ける。

7. 喜歌劇『ジュディッタ』より　「熱き口づけ」 …… 作曲：レハール

オーストリアの作曲家レハールが書いたオペレッタ『ジュディッタ』の第 4 幕の舞台は、地中海のとある街のナイトクラブ〈アルカザール〉。オクターヴィオとの恋に破れ、今やナイトクラブのスター歌手となり刹那に生きるジュディッタが「なぜ男たちは私に愛を語るのかしら。唇に灯りがともるとその理由がわかるわ。私の口は熱く語り、私の肢体は官能的。私の瞳に男たちは惱殺されるのよ」と歌う。

松本 美和子

ソプラノ：松本　美和子　　ピアノ：椎野　伸一

解説：坂井 里映佳

1. 赤とんぼ …… 作曲：山田耕筰　　作詞：三木露風

作詞家である三木露風が幼少時代を過ごした故郷龍野 (兵庫県) での情景をもとにつくられた一曲。彼の子守であった姐やとの思い出を鮮明に映し出す美しい詩が印象的である。

2. 落葉松 …… 作曲：小林秀雄　作詞：野上彰

この曲を作詞した野上彰が、彼が愛した軽井沢で書いた、様々な心情を "落葉松" と "雨" を用いて表現されたこの詩に激しく感動した小林秀雄が美しいメロディをつけた。独唱曲をはじめ、合唱曲、ピアノ曲としても編曲されている。

3. 私のバラ …… 作曲：R. シューマン

レーナウ (1802 ～ 1850) への追悼として書かれた『6 つの詩とレクイエム』の中の一曲である。愛する者が消え去ろうとしても、過度に嘆くことはなく、揺らがぬ思いを強く歌にしている。

4. ムーア人の織物 …… 作曲：M.de ファリャ

スペインの様々な表情を楽しむことのできる歌曲、『7 つのスペイン民謡』からの一曲である。古都グラナダを長きにわたって支配していたムーア人にちなんだ作品であり、彼らの織物に対しての考えやしきたりが垣間見える。

5. ナナ（子守唄） …… 作曲：M.de ファリャ

ムーア人の織物と同じく『7 つのスペイン民謡』からの一曲であり、ゆったりと流れる旋律にのせ、輝かしい未来を待つ愛しい子供のことを想いながら歌う愛の子守歌である。

6. 愛の唄 …… 作曲：G. フォーレ

メロディもハーモニーもシンプルでわかりやすく、あなたの足のつま先から、髪の毛まで、そして眼差しと全て何もかも好き好きと愛を伝えていて、フランスの曲らしさのあるコケティッシュな歌。

7. そうなってほしい …… 作曲：F.P. トスティ

1885 年にロンドンで作曲された、トスティにしては珍しく、なまめかしい雰囲気のある曲だ。"愛している" と口にしたいけれどそうすることはできない、なんとも屈折した恋の思いが母音に描き込まれている作品である。

8. セレナータ …… 作曲：F.P. トスティ

1888 年にロンドンで作曲されたトスティを代表する有名な 1 曲で、歌う際には軽快なリズム、軽やかな旋律が重要視される。作詩はジョバンニ・アルフレード・チェザーレオである。

9. オペラ『ルサルカ』より「月に寄せる歌」 …… 作曲：ドヴォルザーク

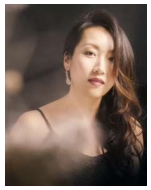
オペラ『ルサルカ』の第 1 幕で歌われる曲で、オペラを超えての名曲として知られており、単独でも演奏される。王子に恋した水の精、ルサルカが人間になりたいと願い彼への気持ちを月に願う歌。

出演者プロフィール

令和 2 年度下総院一音楽賞受賞（音楽文化貢献部門）

トランペット奏者　戸部　豊　*Tobe Yutaka*

アメリカ合衆国ワシントン州シアトル生まれ。武蔵野音楽大学卒業、同大学専攻科修了。大学在学中に ABC 交響楽団第一奏者 (1960 年～ 1962 年)、大学修了後も東京交響楽団第一奏者 (1962 年～ 1968 年)、日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者 (1968 年～ 1972 年)、新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者 (1972 年～ 1978 年) を歴任し、国内のオーケストラのトランペット首席奏者として幅広く活躍。1970 年、アメリカ合衆国のタングルウッド音楽祭出演。1973 年、都市センターホテルにて日本初のトランペットリサイタル開催。1987 年、タングルウッド音楽祭リサイタル、1989 年、1991 年、アメリカ合衆国ウィスコンシン州ハークネス パーク・フェスティバルでエンパイア・ブラスと共演。2011 年、川口リリアホールにてプロ・デビュー 50 周年記念コンサート開催。1962 年、第 31 回日本音楽コンクール第 2 位、2011 年、明石芸術家協会「音楽栄誉賞」受賞。教育家として、武蔵野音楽大学非常勤講師 (1971 年～ 1975 年、1977 年～ 1982 年)、同大学専任講師 (1982 年～ 1994 年)、同大学助教授 (1994 年～ 2000 年)、同大学教授 (2000 年～ 2015 年)、同大学特任教授 (2015 年～ 2020 年)、同大学名誉教授 (2020 年～)、尚美短期大学専任講師 (1981 年～ 2000 年) と県内の音楽教育に力を注ぎ、優秀な演奏家を多数輩出。武蔵野音楽大学在任中、N 響、日フィル、読響、都響、東フィル、新星響、仙台フィルなどに多くのオーケストラ・プレイヤーを育成。



令和元年度下総院一音楽賞受賞（音楽文化発信部門）

声楽家　森谷　真理　*Moriya Mari*

武蔵野音楽大学大学院首席修了後、渡米。ニューヨーク・マネス音楽院プロフェッショナル・スタディーズコース修了。2006 年メトロポリタン歌劇場『魔笛』夜の女王役で成功を収め、一躍脚光を浴びる。2010 年～ 2014 年オーストリア・リンツ州立劇場の専属として『マリア・ストゥアルダ』、『椿姫』、『ラクメ』いずれも題名役、『ラ・ボエーム』ミミなど様々な役を演じ、ウィーン・フォルクスオーパー、ライプツィヒ・オペラなどにも客演。2014 年びわ湖ホール『リゴレット』ジルダで鮮烈な日本デビューを飾り、以降は全国各地のオペラ・プロダクションに出演。同『ラインの黄金』フライア、『ワルキューレ』ジークリンデ、『神々の黄昏』グートルーネ、『ローエングリン』エルザ、日生劇場『後宮からの逃走』コンスタンツェ、『魔笛』パミーナ、東京二期会『ばらの騎士』元帥夫人、『蝶々夫人』『サロメ』いずれも題名役などで高い評価を得る。コンサートではポーランド国立放送響、ワシントン・ナショナル響などとバロックカンタータをはじめペルゴレージ『スターバト・マーテル』、モーツァルト / ヴェルディ『レクイエム』、マーラー『交響曲第 4 番』等で共演し、最近ではオペラ・アリアによる NHK 交響楽団公演で絶賛を博す。メディアにも、NHK『クラシック倶楽部』でリサイタルが放送されたのをはじめ、『名曲アルバム』『NHK ニューイヤーオペラコンサート』、テレビ朝日『題名のない音楽会』など多数出演。2019 年『天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典』で国歌独唱を務めるなど、今最も注目を集めるソプラノの一人。

令和元年度下総院一音楽賞受賞（音楽文化貢献部門）

声楽家　松本　美和子　*Matsumoto Miwako*

武蔵野音楽大学卒業、同専攻科修了。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院を首席名誉賞受賞で卒業。ローマ・アカデミア・サンタ・チェチーリアを修了。ジュネーブ国際音楽コンクール第 2 位 (1 位なし) ほか、世界各地のコンクールにて受賞歴多数。1972 年、ローマ国立歌劇場で「カルメン」のミカエラ役でデビュー。1991 年 10 月、ウィーン楽友協会にて、日本人としては初めての楽友協会主催によるリサイタル、ドイツ歌曲のタベに出演し大好評を博した。これまでに、イタリア国内はもとよりベルリン、デュッセルドルフ、フランクフルト、バイエルン国立歌劇場、バルセロナ、ウィーン国立歌劇場、ロンドンのロイヤル・オペラ、シカゴのシビック・オペラハウスなど、世界各国の主要オペラ劇場に出演。日本でも、新国立劇場など国内最高峰の音楽ホールで数々の公演を行い、好評を博している。2009 年には、プーランクのモノ・オペラ「声」で大成功を収め、以来同オペラを歌い続けている。活動の傍ら、武蔵野音楽大学 (入間校舎) で音楽教育に力を注ぎ、次世代の育成をライフワークのひとつとして取り組んでいる。1998 年にチャイコフスキー・コンクールで日本人として初めて優勝した佐藤美枝子 (平成 26 年度下總院一音楽賞音楽文化発信部門受賞者) をはじめ、優秀な声楽家を多数輩出している。2006 年 4 月紫綬褒章を授与。2012 年、旭日小受章を叙勲。現在、武蔵野音楽大学特任教授、日本演奏連盟理事、日伊音楽協会理事、日本音楽コンクール顧問。